

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	下妻市役所			代表者名	菊池 博
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進課	連絡先電話番号	0296-43-2117
担当者役職	主幹	担当者氏名	芦ヶ谷 悠平	連絡先E-mail	
住所	304-8501 茨城県下妻市本城町三丁目13番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	地域DXを盛り込んだ行政改革プラン改定
概要	行政改革プラン（DX推進計画）を改定するにあたり、市幹部職員等への地域DX推進の考え方や方向性など機運醸成を行いたい。 また、地域DXに繋がる施策を検討していくための、助言をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年6月9日	事前打合せ(オンライン)	10時00分	11時00分	
				活動時間（分）	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	下妻市が抱える課題を掘り下げて、研修内容を検討してくれたため。 市が想定できていなかった課題である、管理職のマネジメント方法について、時間外管理、人材育成、現場への過度な関与といった管理職が抱える課題に焦点を当て、意識改革の必要性が明確になった。マネジメントスキルの習得、改革を行うための研修が不足している現状を認識し、具体的な研修内容の提案（時間外を減らすマネジメント、計画立案ができる職員の育成）に繋がった。
アドバイザーへの要望事項	管理職の意識が大きく変わっていくことが楽しみです。引き続きよろしくお願いします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	3人
	属性	自治体職員	住民
	人数	3	0
		0	0
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	下妻市の行政改革プランには地域DXに関する具体的な施策が不足しており、地域のデジタル化およびICT利活用の推進が遅れている現状です。主な課題は以下の通りです。 ・地域DXを推進するための具体的な施策やアクションプランが策定・実施されていない ・市職員からの地域DX推進に関する積極的な提案やアイデアが不足している ・幹部職員を中心としたリーダーシップ体制や推進体制の未整備 ・地域住民や民間企業との連携・協力体制が構築されていない		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員一人ひとりが地域DXを推進する意識の醸成と具体的な施策の検討・実施、関係者間の連携強化を目指す。以下に具体的な成果を示す。 ・市職員の地域DX推進に関する積極的な提案の増加 ・幹部職員のマネジメント能力の向上 ・地域住民や民間企業と連携した施策を企画		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	地域DXを推進するためには、管理職の意識改革とマネジメント能力向上が不可欠です。管理職のマネジメント能力が不足すると、正規職員が政策立案などの本来業務に注力できない状況が生じます。上からの指示を待つだけの職員を減らすためには、人材育成が重要となります。また、将来的な職員数の減少を見据え、業務を効率化するためのタイムマネジメントも重要です。DXやデジタルツールを活用することで時間を創出し、研修や企画立案に充てるという意識改革が求められます。さらに、行革プランの施策立案に関して、正規職員に求められる企画力の具体例が提示されました。地域DXの施策として高齢者向けのスマホ教室などが挙げられますが、単にスマホの使い方を教えるだけでなく、社会福祉協議会やケアマネジャーなども同席し、ケアマネジャーがDXを活用することで高齢者が恩恵を受けられるような仕組みづくりが重要です。正規職員は、より効果的な企画を立案する必要があります。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進課が管理職のマネジメント能力と人材育成の重要性を理解したことで、地域DXを推進するための管理職マネジメント研修の内容が具体化されました。 研修では、効果的な施策を企画する方法や、AIを活用した時間効率化について学ぶことができました。 今後は、管理職に対して人材育成とタイムマネジメントに関する研修を実施する予定です。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	2回目の支援において、管理職研修を、3回目の支援でフォローアップ研修を開催予定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	事前打ち合わせのためアンケートはなし。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
	令和7年度末までに、DXで解決できる地域課題の洗い出しと課題を解決する施策を行行政改革プランに盛り込む。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	市民サービス向上と市民とのつながりの強化 オンライン申請できる行政手続きの充実と、市と市民がSNS等で双方向通信ができるような地域DXの推進	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	☐ 掲載可	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		
 		